

# IoS-OP 国内船社向けセミナー

～現存船におけるCII対策とレトロフィット～

2022年4月12日 火 13:00～17:00

**場 所** 一般財団法人日本海事協会 今治支部（中継会場あり）  
**主 催** IoS-OP コンソーシアム（運営：株式会社シップデータセンター）  
**申 込 URL** <https://www.event-form.jp/event/27866/IoSOP202204/>



お問い合わせ：IoS-OPコンソーシアム事務局 E-mail：consortium@shipdatacenter.com

# IoS-OP 国内船社向けセミナー

13:00~14:50

時刻	タイトル	講演者	キーワード	講演概要
13:00-13:05	オープニング・メッセージ	IoS-OPコンソーシアム議長		
13:05-13:30	CII格付け制度の概要及びNKの取組み	一般財団法人日本海事協会 ゼロエミトランジションセンター 主管 山崎 雅雄 氏	 CII格付け制度 ゼロエミッション・サポート・サービス ZETA	2023年1月から開始される、燃費実績（CII）格付け制度の概要について紹介します。また、ClassNK MRV Portalと連動したデータ活用のためのワンストップツールとして開発を進めている「ClassNK ZETA（Zero Emission Transition Accelerator）」の概要についても紹介します。
13:30-14:00	船舶性能改善へ向けたMTIの取組み	株式会社MTI 船舶物流技術グループ長 佐藤 秀彦 氏	 燃費改善 レトロフィット データモニタリング 運航プロファイル	EEXI、CIIが導入される中で、既存船の燃費改善、運航改善に向けた取組みが注目されています。船舶のビッグデータから得た運航プロファイルを基にしたレトロフィットや運航改善のMTIの取組みについて紹介します。
14:00-14:30	船底防汚塗料によるCII対策・レトロフィットの取組み	中国塗料株式会社 防汚技術部 防汚第一グループ 三重野 紘央 氏	 船底防汚塗料 レトロフィット データモニタリング 運航プロファイル 燃費改善	地球温暖化の原因であるCO2排出量削減の要求により、国際法規制等で効率的な船舶運航が求められています。IMOでのEEXI、CII法規制により、2023年からより効率的な船舶運航が求められることとなりますが、船底防汚塗料によるEEXI・CII対策・レトロフィットは、効果的かつ容易に実施できる対策として期待されています。本講演では、最新防汚塗料による性能改善の取組みならびに、船体（防汚塗料）性能を可視化し、船体性能向上に活用できる情報技術サービスCMP-MAPについて紹介いたします。
14:30-14:50		休憩		

時刻	タイトル	講演者	キーワード	講演概要
14:50- 15:20	<b>改良型PBCFのご紹介</b> EEXI/CII 対応として	商船三井テクノトレード株式会社 取締役 環境・安全機器事業部長 福島 正男 氏	 PBCF ESD レトロフィット アフロート取付 他のESDとの組み合わせ	PBCF (Propeller Boss Cap Fins) は1987年の開発から、世界中で3,600隻以上の船舶へ採用され、主として、就航船の入渠時にレトロフィット頂いています。入渠時を逃してもアフロート取付が可能。他のESDとの組み合わせでも効果が確認されています。
15:20- 15:50	<b>新しい時代に、新しいプロペラ</b> EEXI、CII規制に対するナカシマプロペラの取り組み	ナカシマプロペラ株式会社 海外営業部 係長 田外 慶彦 氏	 プロペラ 省エネ付加物 舵 レトロフィット 燃費改善	2023年より、EEXI規制、CII格付が開始されようとしています。既存船に対する燃費改善が期待される中、総合推進器メーカーとして、ナカシマプロペラの最新の取り組みと、事例をご紹介します。
15:50- 16:20	<b>【脱炭素化】EEXI/CII規制による現フリートへの影響分析と今後のGHG削減への対応について</b> ～NAPA Fleet Intelligence	NAPA Japan株式会社 シニアセールスマネージャー 申 東燮 氏	 EEXI CII CO2削減 GHG 環境規制	世界で就航中の1500隻のばら積み船の実航海データ等を用いて、EEXI規制がCO2削減や輸送能力に及ぼす影響の分析を行い、CIIを改善するための運航アプローチについて考察しました。御社のフリートでも同様の分析が可能です。
16:20- 16:50	<b>造船技術の実海域性能への適用</b> ～エンジニアリングでEEXI、CII対応に貢献～	株式会社三井造船昭島研究所 取締役 技術統括部長 木村 校優 氏	 実海域性能 データモニタリング 燃費改善 運航改善 MaritimeDX	船舶からのゼロエミッションを目指し、新造船だけでなく既存船のCO2排出量削減に向けた取り組みが注目されています。EEXI、CII対応に向けた実海域における燃費改善、運航改善に対する造船技術の適用と三井昭研の貢献について紹介します。
16:50- 17:00	<b>クロージング・メッセージ</b>	株式会社シップデータセンター 代表取締役社長 池田 靖弘		